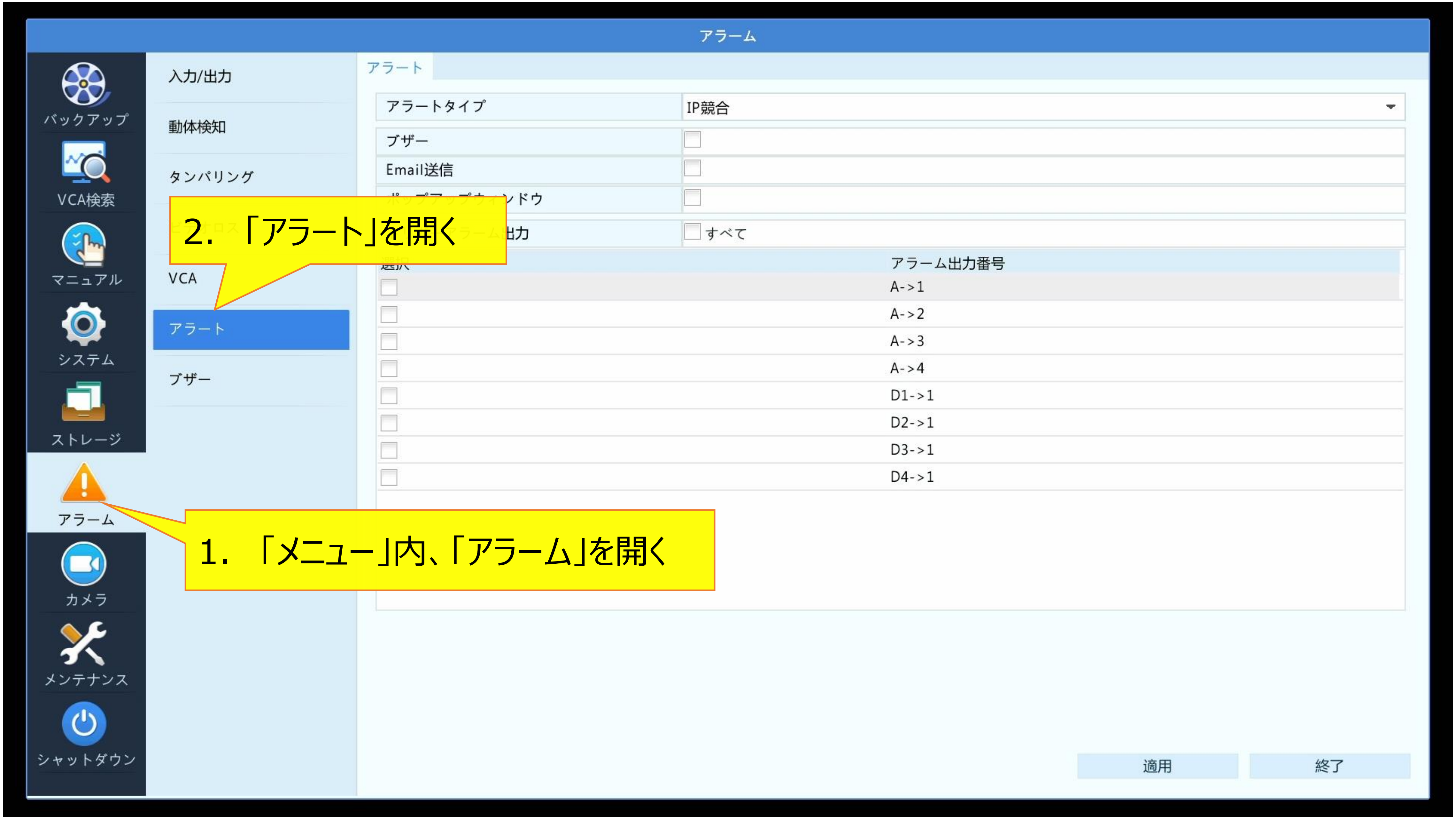
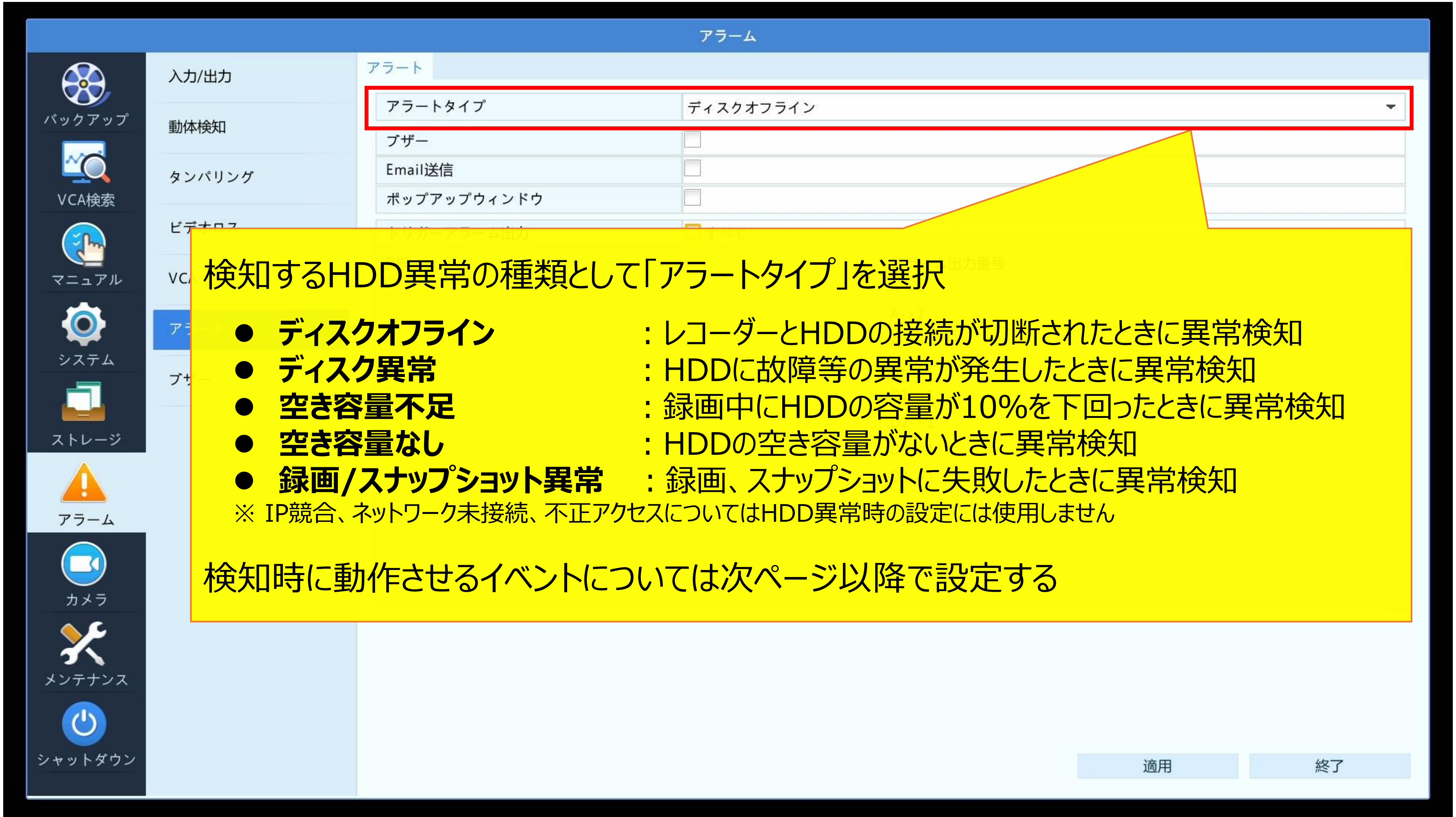
連動イベントの設定手順（HDD異常）

この手順書では、Uniview製ネットワークレコーダに搭載されたHDDに異常が発生したとき、アラーム出力やメール送信等のイベントを連動して発生させる設定手順を説明します

1.HDD異常設定画面の表示



2.アラート動作「アラートタイプ」の設定



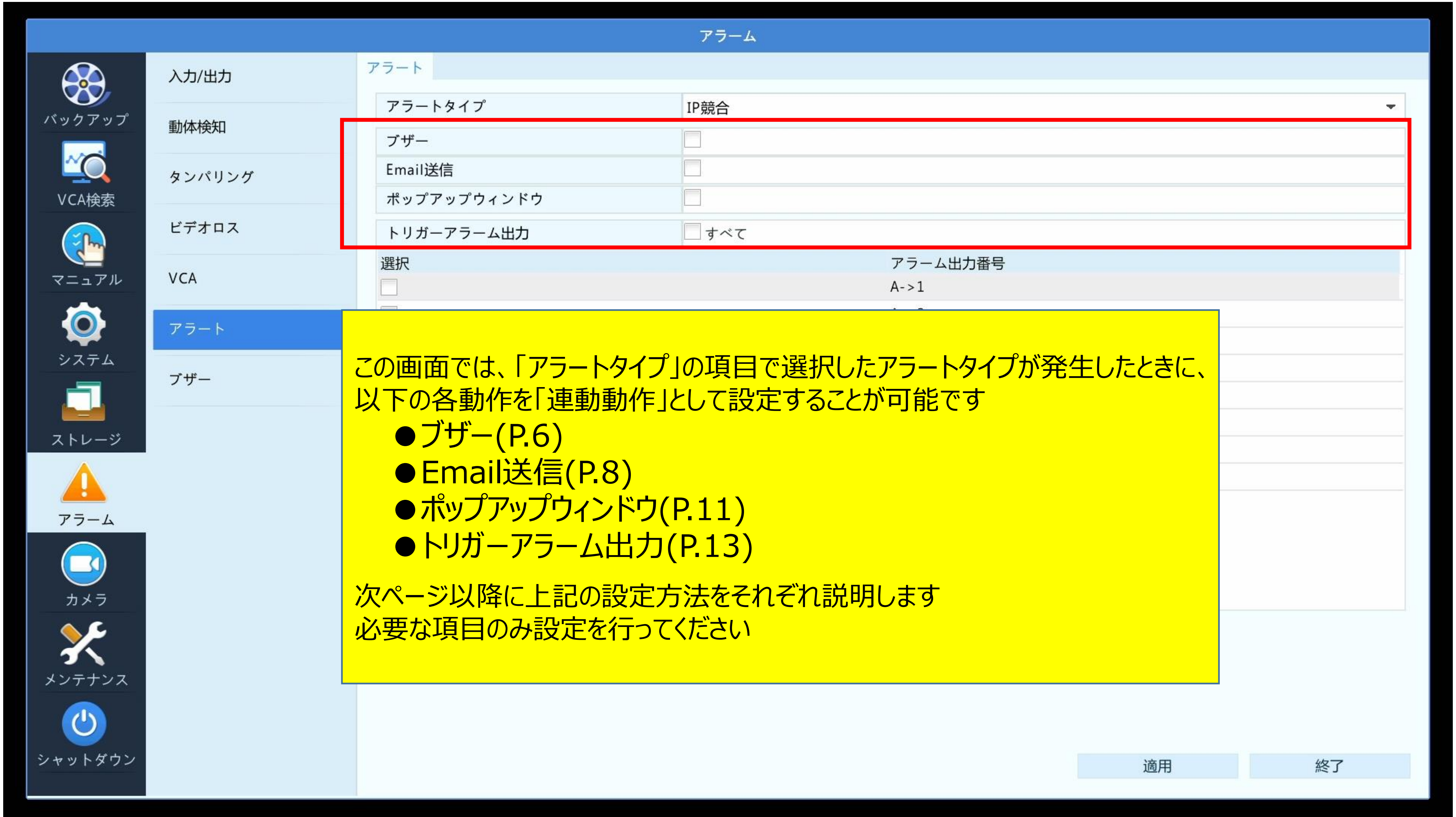
検知するHDD異常の種類として「アラートタイプ」を選択

- **ディスクオフライン**　：レコーダーとHDDの接続が切断されたときに異常検知
- **ディスク異常**　：HDDに故障等の異常が発生したときに異常検知
- **空き容量不足**　：録画中にHDDの容量が10%を下回ったときに異常検知
- **空き容量なし**　：HDDの空き容量がないときに異常検知
- **録画/スナップショット異常**　：録画、スナップショットに失敗したときに異常検知

※ IP競合、ネットワーク未接続、不正アクセスについてはHDD異常時の設定には使用しません

検知時に動作させるイベントについては次ページ以降で設定する

3-1.HDD異常時アラートの設定



この画面では、「アラートタイプ」の項目で選択したアラートタイプが発生したときに、以下の各動作を「連動動作」として設定することが可能です

- ●ブザー(P.6)
- ●Email送信(P.8)
- ●ポップアップウィンドウ(P.11)
- ●トリガーアラーム出力(P.13)

次ページ以降に上記の設定方法をそれぞれ説明します
必要な項目のみ設定を行ってください

3-2.HDD異常時アラートについて

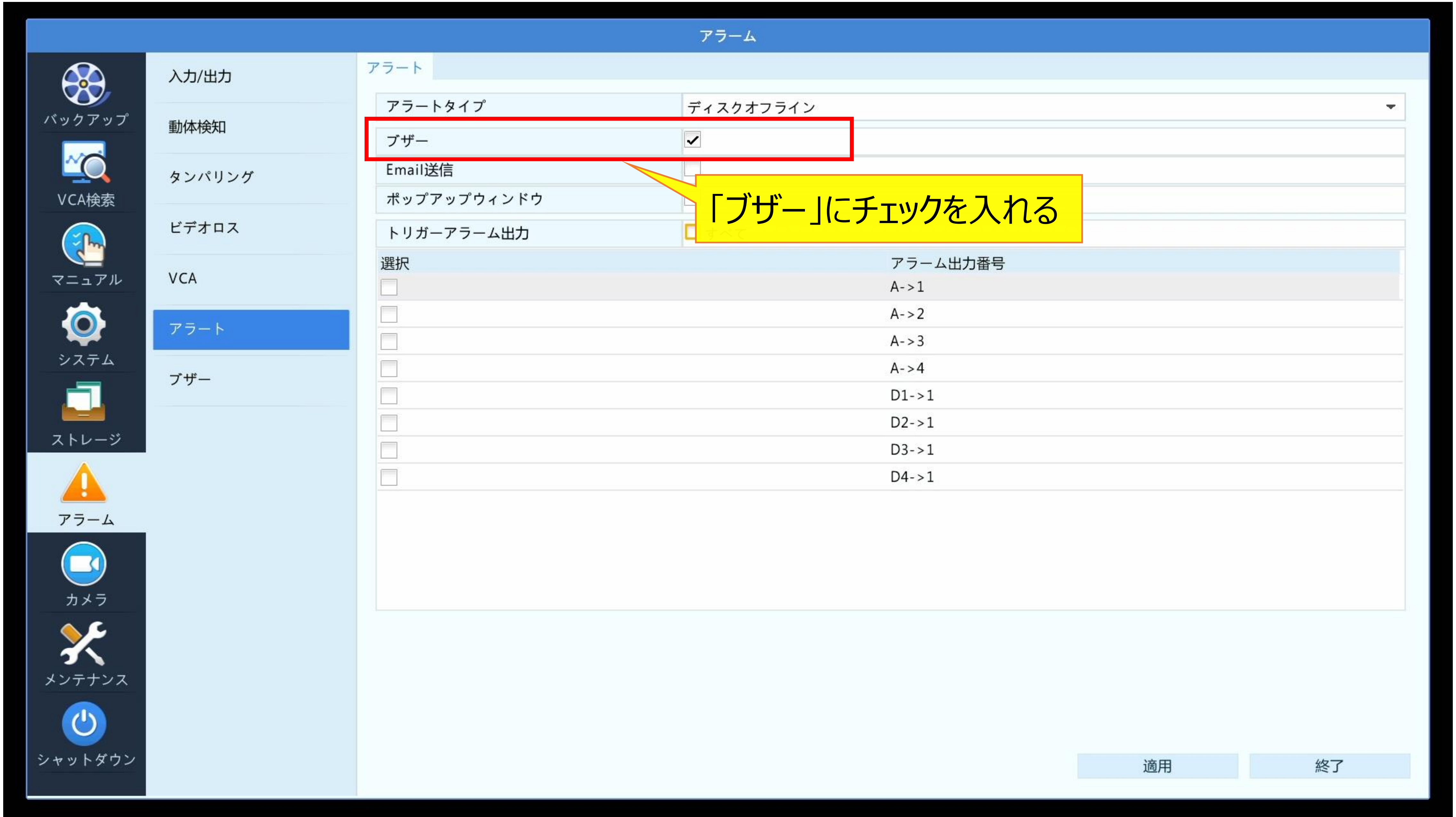
- **ブザー**
  NVRからブザーを鳴動する

- **Email送信**
  NVRに登録しているユーザーにメールを送信する

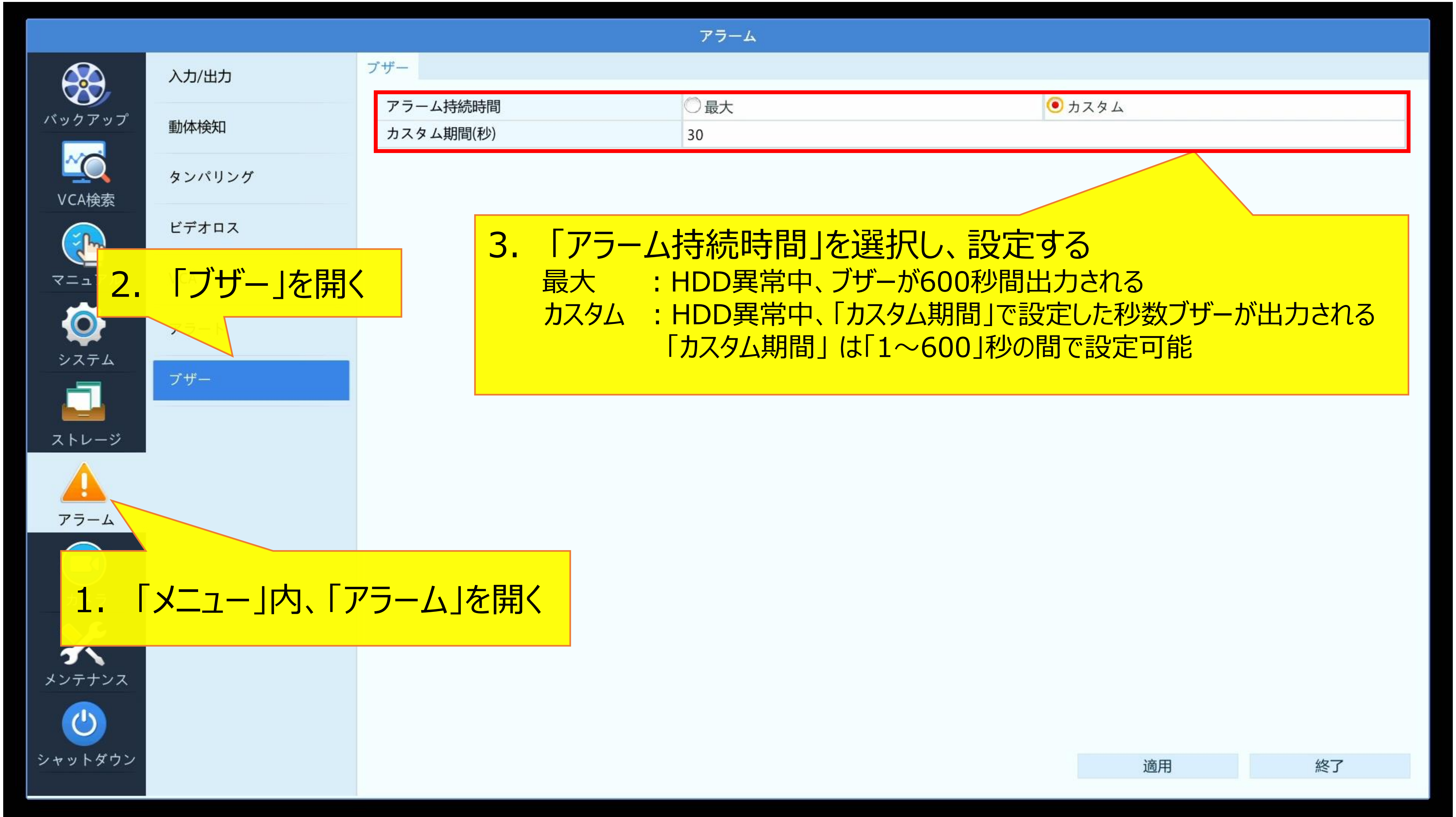
- **ポップアップウィンドウ**
  画面上でメッセージウィンドウをポップアップさせる

- **トリガーアラーム出力**
  NVRの指定したアラーム出力端子を動作する

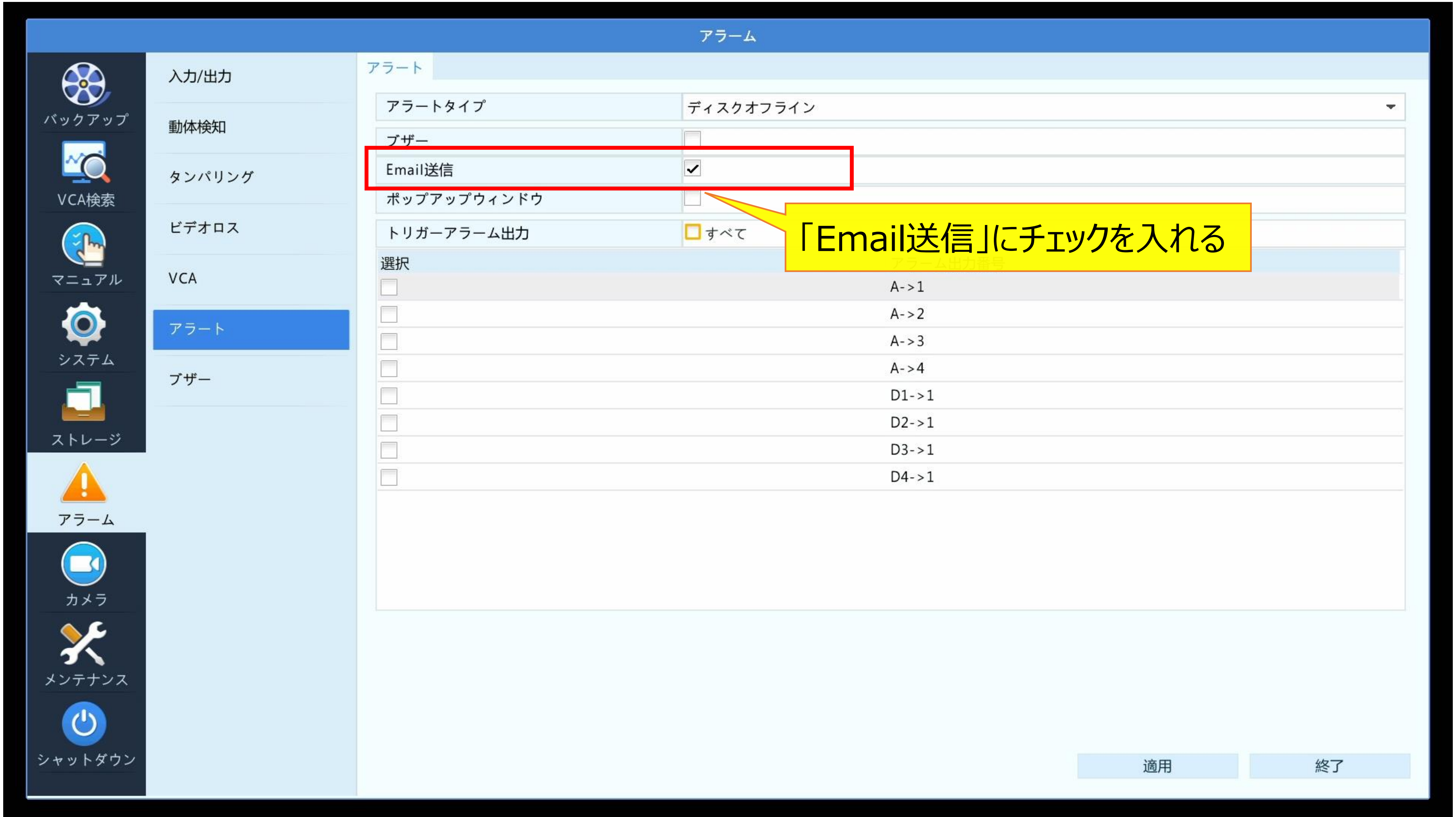
4-1.アラート動作「ブザー」の設定



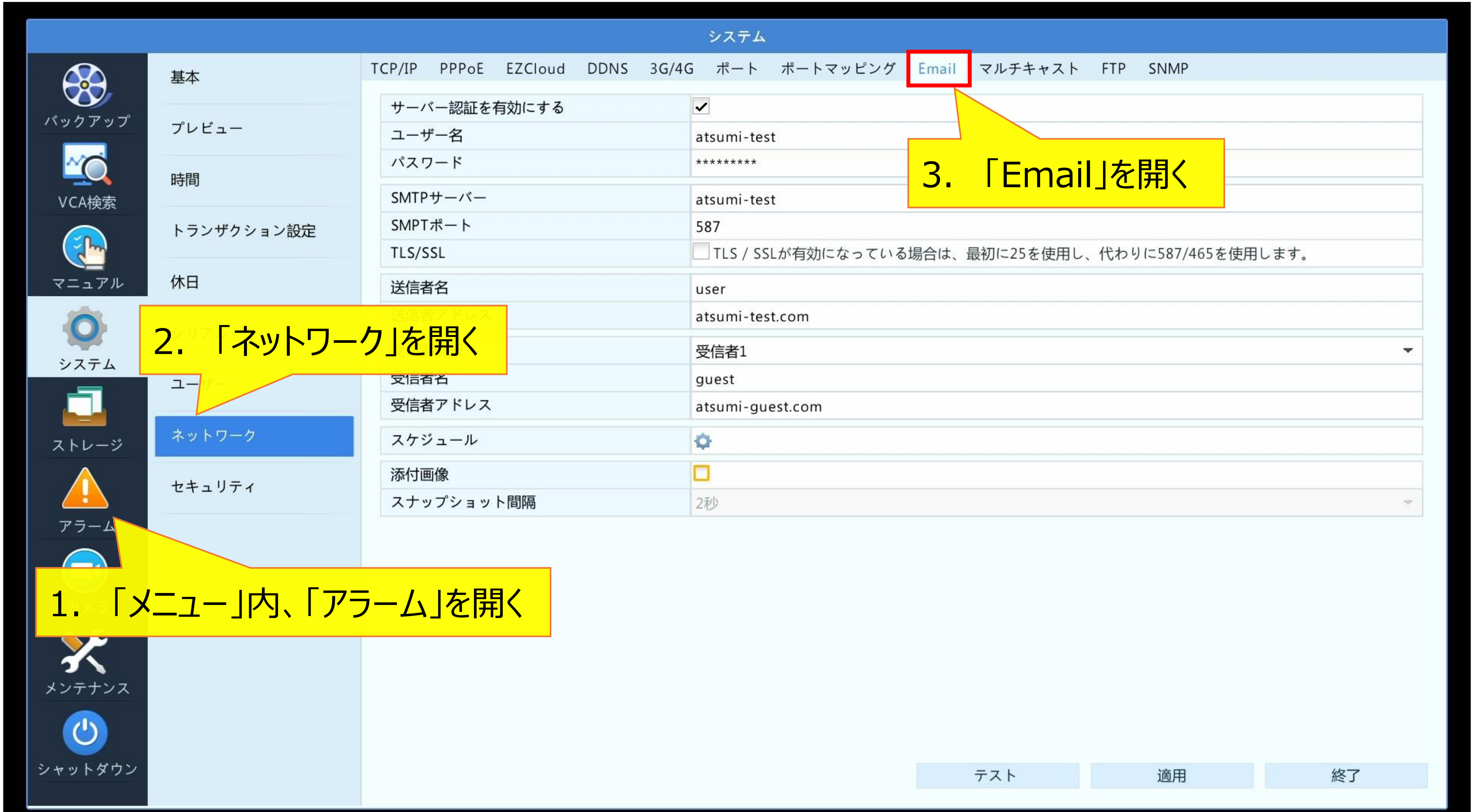
4-2.アラート動作「ブザー」の追加設定



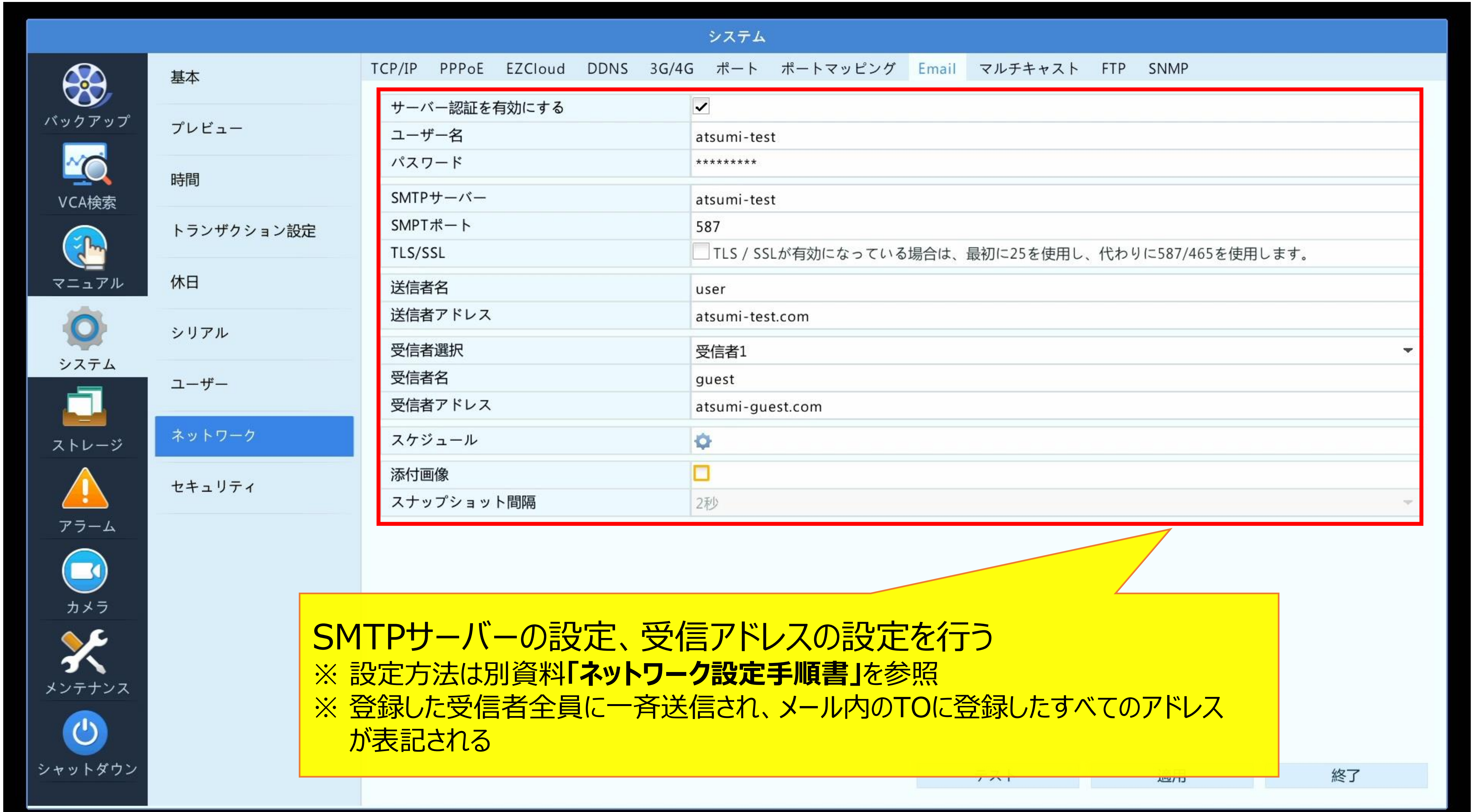
5-1.アラート動作「Email送信」の設定



5-2.アラート動作「Email送信」の追加設定1



5-3.アラート動作「Email送信」の追加設定2

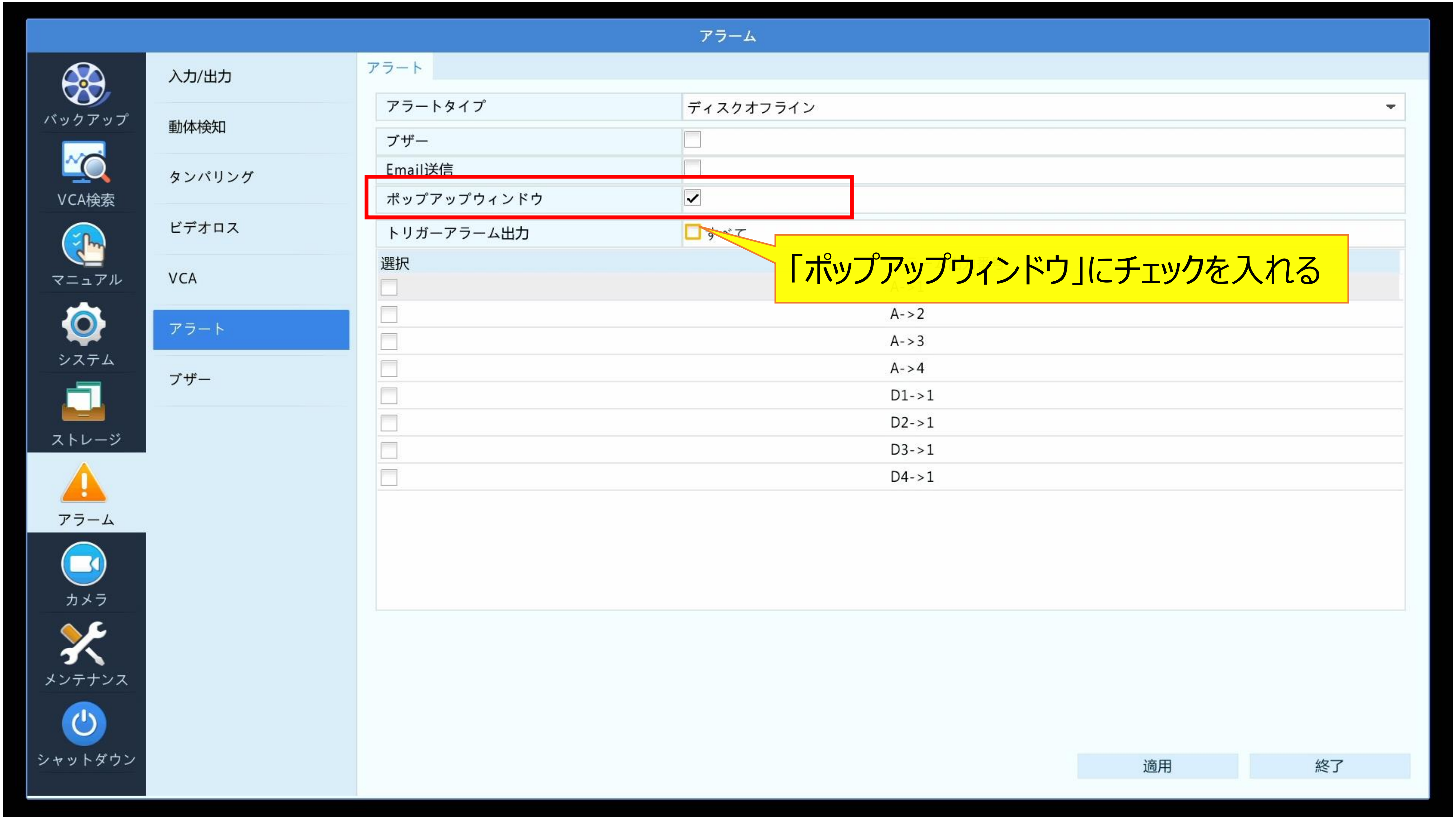


SMTPサーバーの設定、受信アドレスの設定を行う

※ 設定方法は別資料**「ネットワーク設定手順書」**を参照

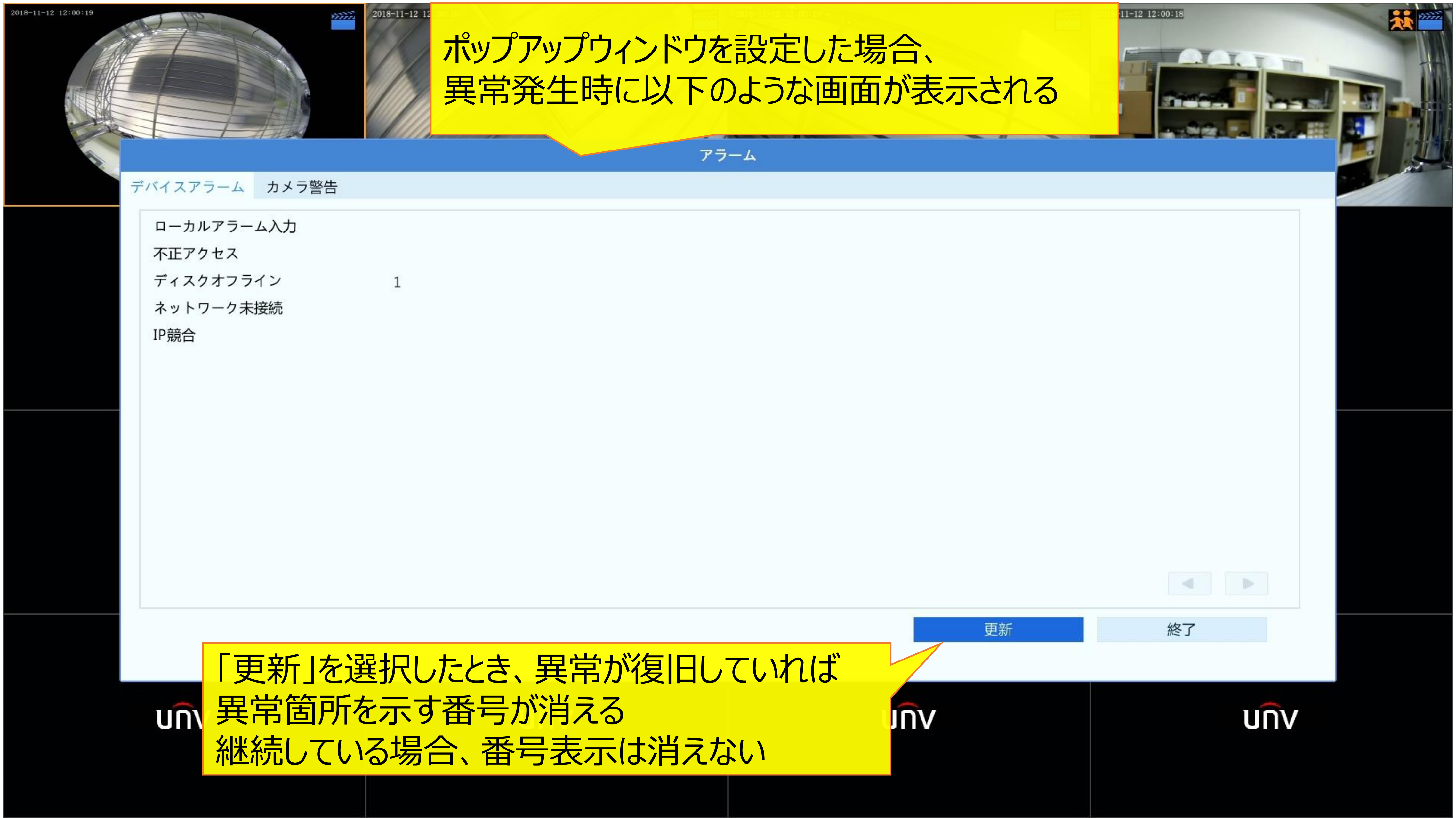
※ 登録した受信者全員に一斉送信され、メール内のTOに登録したすべてのアドレスが表記される

6-1.アラート動作「ポップアップウィンドウ」の設定



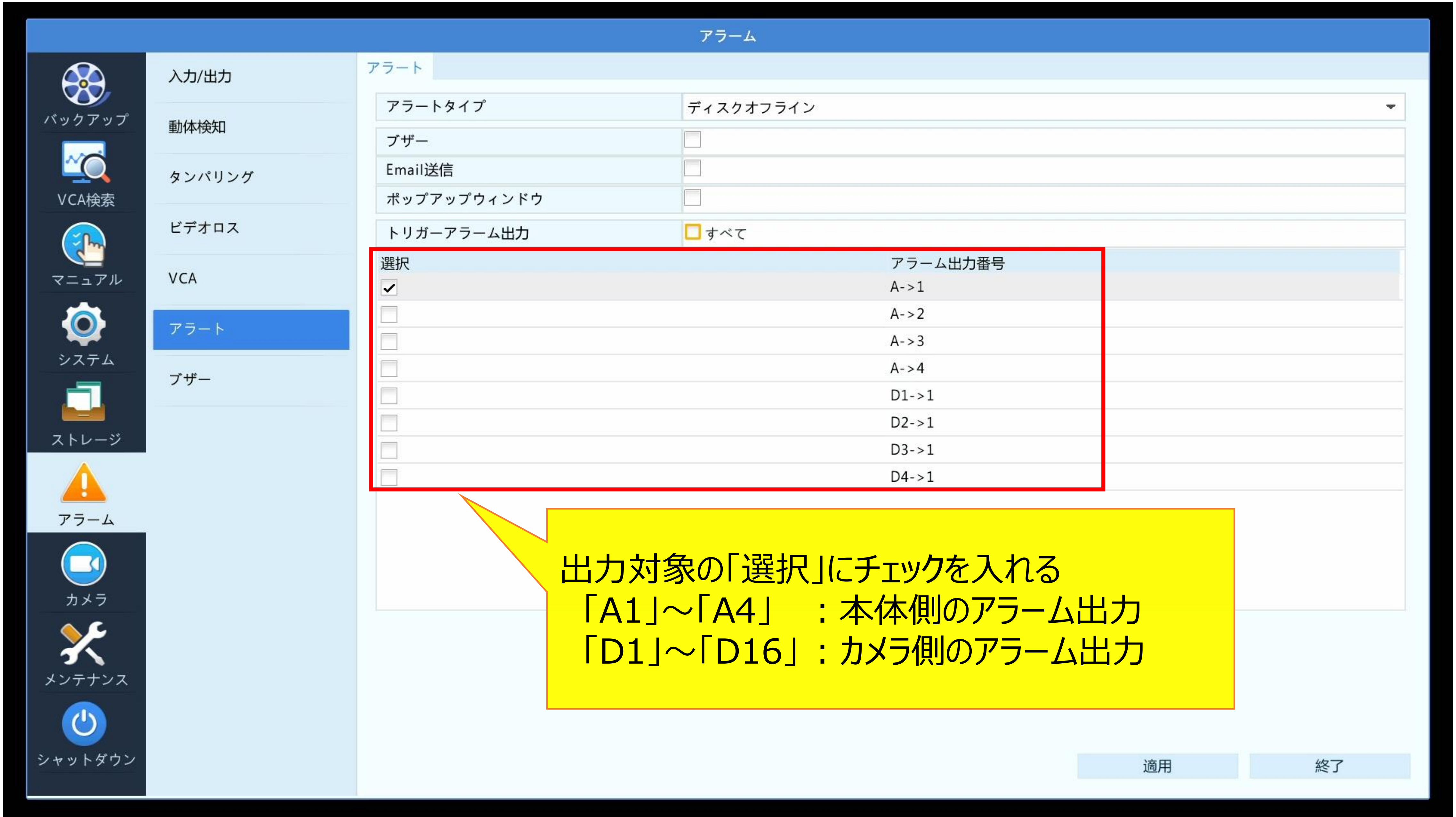
6-2.アラート動作「ポップアップウィンドウ」画面

ポップアップウィンドウを設定した場合、
異常発生時に以下のような画面が表示される



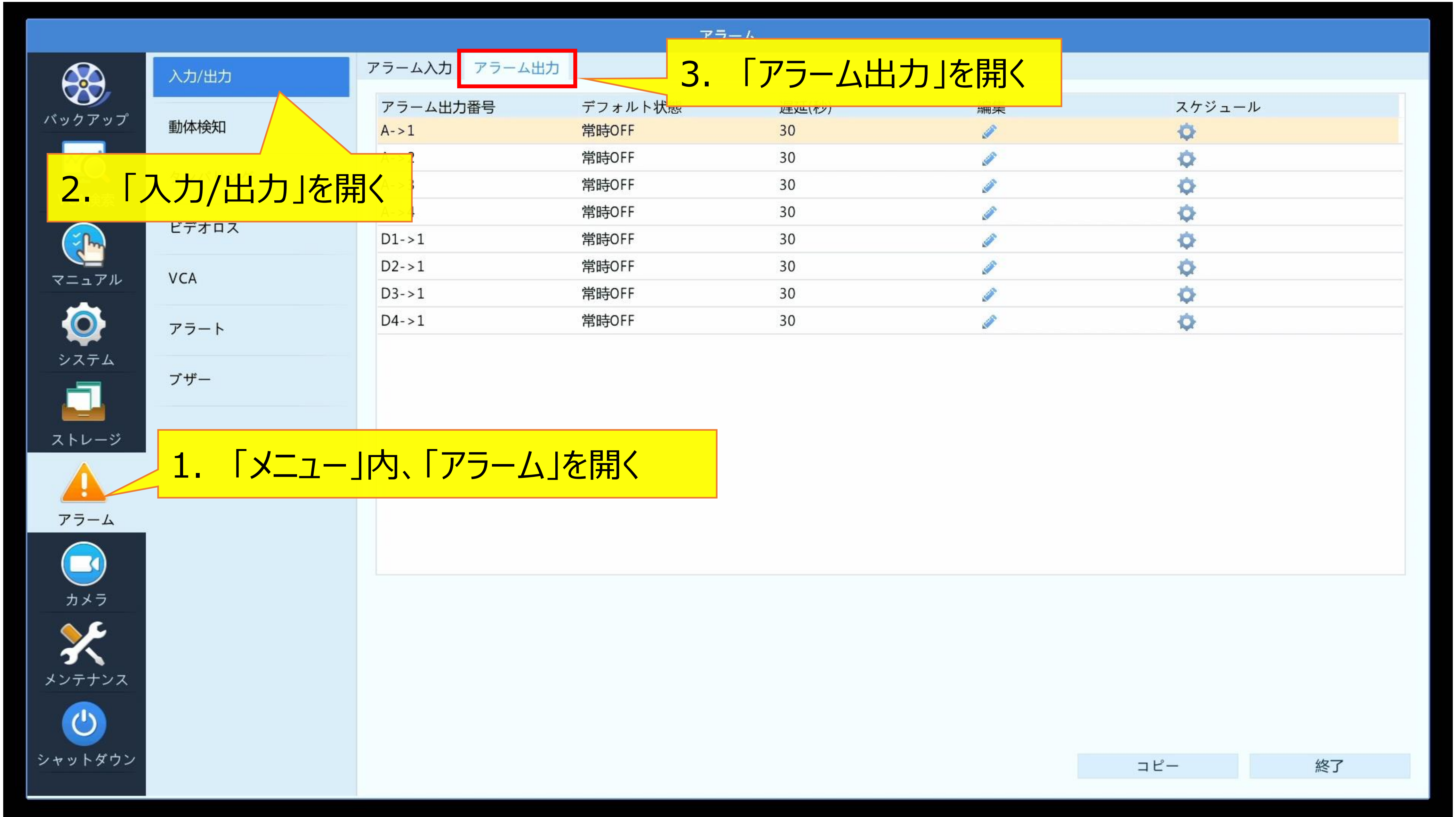
「更新」を選択したとき、異常が復旧していれば
異常箇所を示す番号が消える
継続している場合、番号表示は消えない

7-1.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の設定

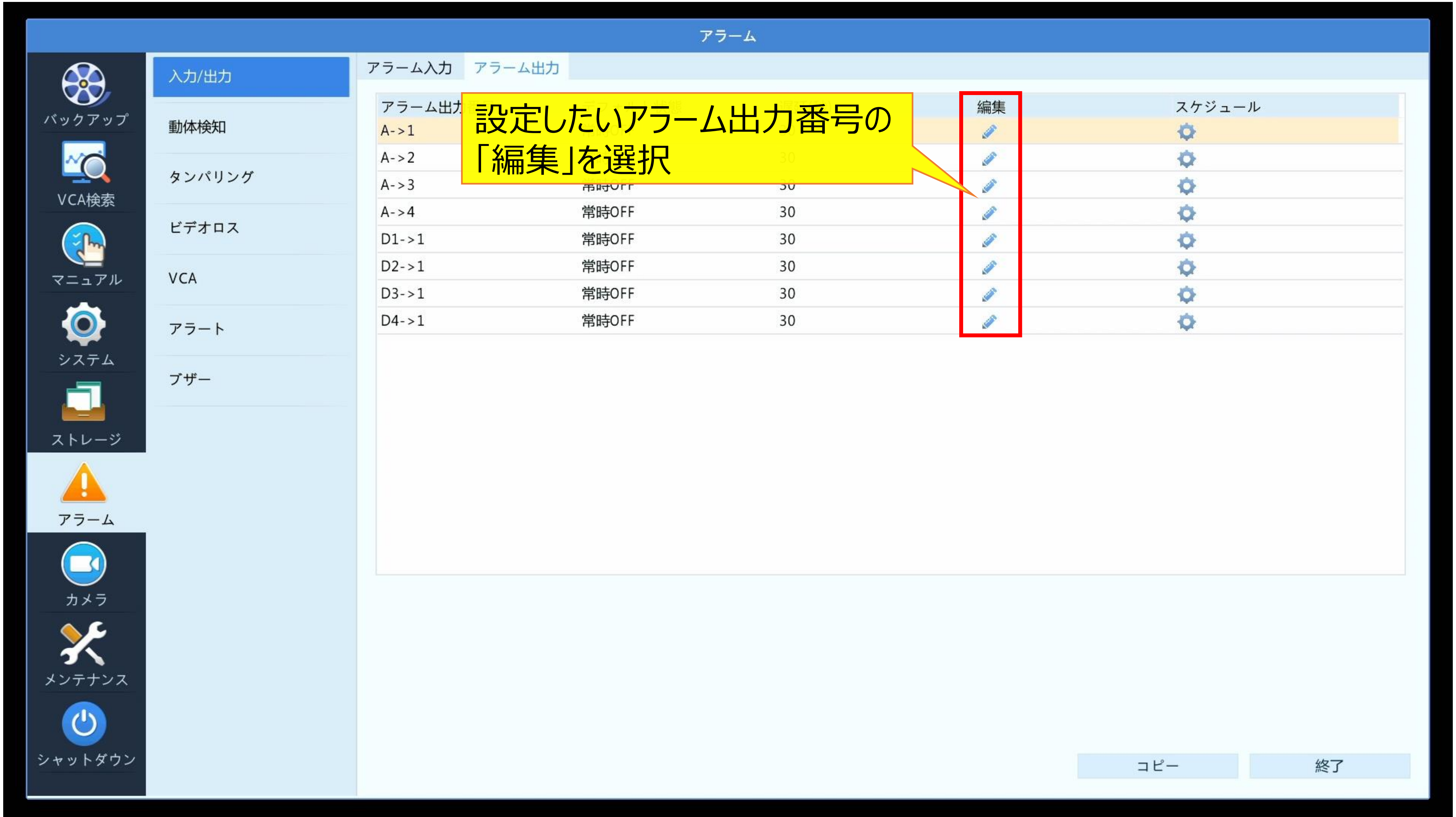


出力対象の「選択」にチェックを入れる
「A1」～「A4」　：本体側のアラーム出力
「D1」～「D16」：カメラ側のアラーム出力

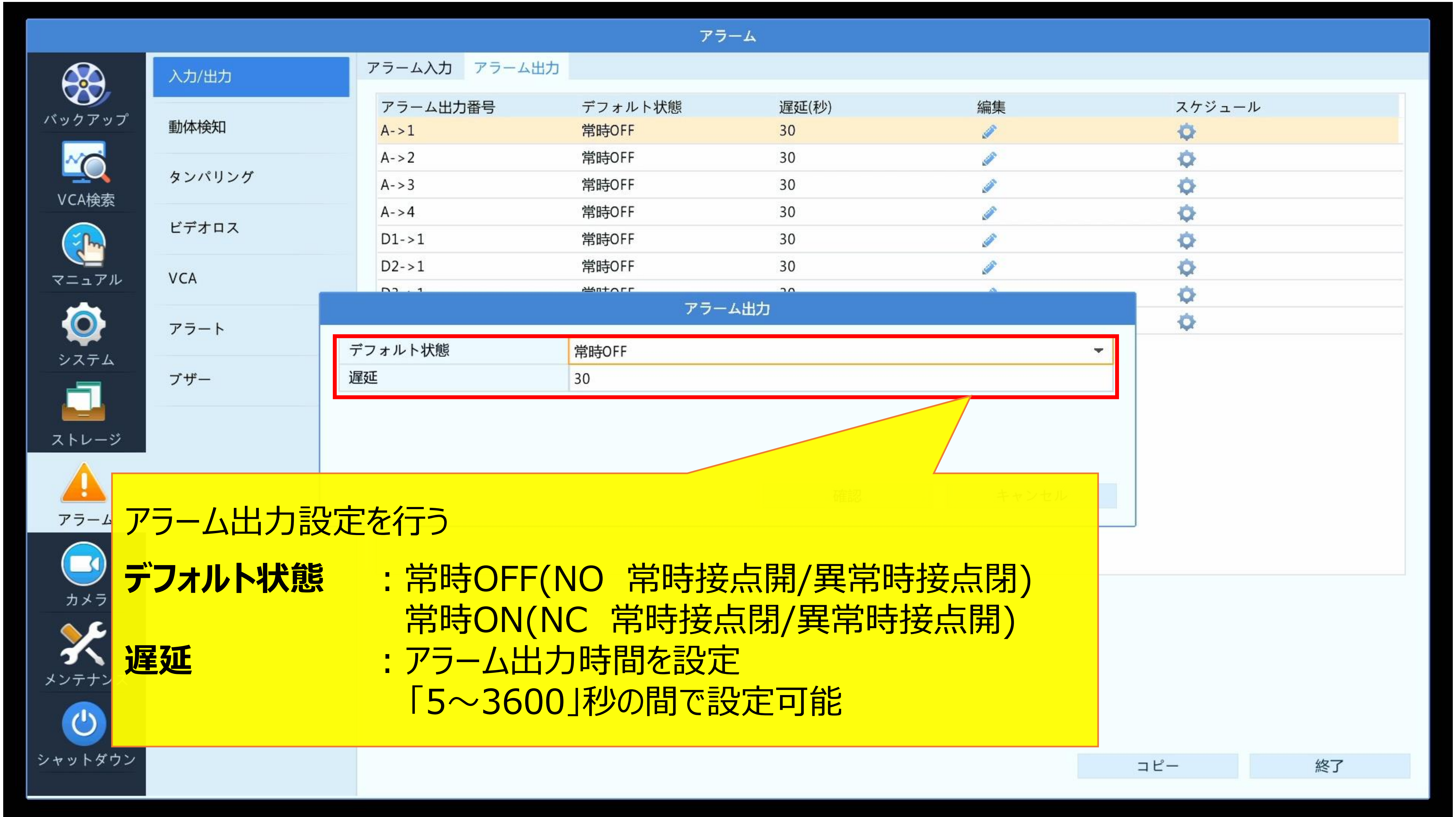
7-2.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の追加設定1



7-3.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の追加設定2



7-4.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の追加設定3

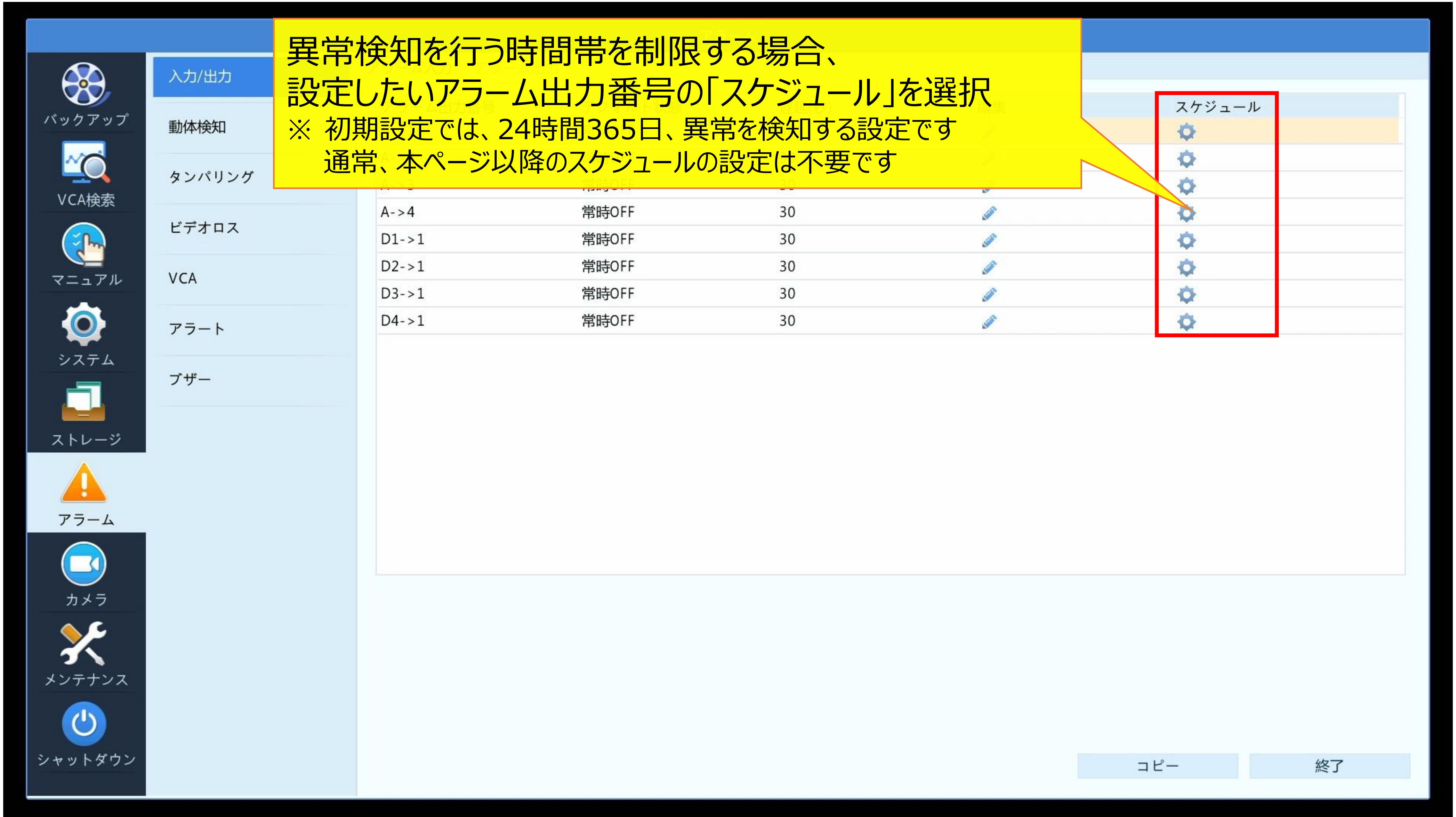


アラーム出力設定を行う

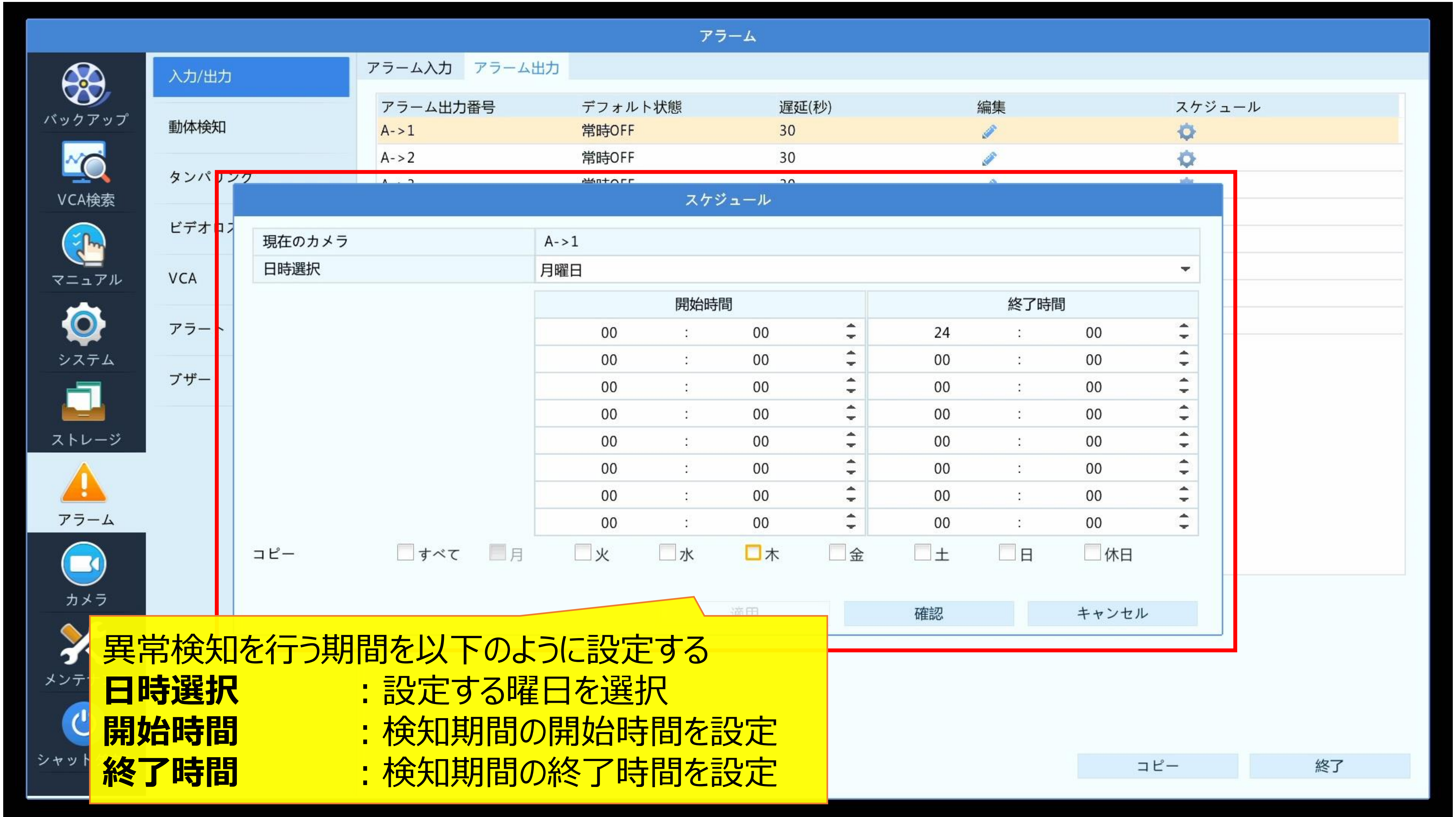
デフォルト状態　：常時OFF(NO　常時接点開/異常時接点閉)
常時ON(NC　常時接点閉/異常時接点開)

遅延　：アラーム出力時間を設定
「5～3600」秒の間で設定可能

7-5.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の追加設定4



7-6.アラート動作 「トリガーアラーム出力」の追加設定5



異常検知を行う期間を以下のように設定する

日時選択　　　：設定する曜日を選択

開始時間　　　：検知期間の開始時間を設定

終了時間　　　：検知期間の終了時間を設定